

巖原港

| | |
|------|--|
| 所在地 | ■ 巖原港：対馬市巖原町東里 ■ 三浦湾：美津島町久須保 |
| 最寄り駅 | |
| アクセス | ■ 巖原港：対馬空港から車で30分 ■ 三浦湾：対馬空港から車で15分 |
| 施設情報 | ■ 巖原港ターミナルビル 全体：1,649㎡（ロビー面積：577㎡） 施設延長：52m、幅：21m、高さ：8m ※2020年12月頃に、現在建設中の新ターミナルに移転予定。 |
| 港湾情報 | ■ 巖原港 岸壁：130m、170m、幅：20m、水深：-7.5m、潮差：1.93m ■ 三浦湾 岸壁：なし、潮差：1.8m |
| その他 | ■ 巖原港 係留施設は貨物用岸壁のため要調整 ■ 三浦湾 客船は沖泊で対応 CIQ面積：153㎡ |
| 歓迎行事 | 船長への花束贈呈、歓迎催し（地元園児ダンス等）他 |
| 観光案内 | お問い合わせ：対馬観光物産協会 TEL 0920-52-1566 |
| 市内観光 | ■ 市内観光のご紹介（城下町まち歩き、トレッキング、シーカヤックなど） 対馬観光物産協会 TEL 0920-52-1566 |



対馬は、九州と韓国との対馬海峡に浮かぶ島です。韓国までは直線距離で49.5キロに位置し、「国境の島」と呼ばれています。島の面積の89%を森林に覆われ、国の天然記念物であるツシマヤマネコなどの珍しい大陸系の生物が生息しています。また、古来より日本本土と大陸を結ぶ海上交通の要衝として知られ、元寇や豊臣秀吉の朝鮮出兵など外国との軍事的緊張にさらされる一方、江戸時代には華やかな国際外交の場で活躍するなど、重要な役割を果たしてきました。現在も、約15万人(平成24年)の外国人観光客が来島するなど、いにしえと変わらぬ国境の島としての歴史が刻まれ続けています。



対馬のおもてなし

- 主な歓迎イベント(実績など)
地元高校吹奏楽部による演奏、特産品プレゼントなど
- インフォメーションデスク設置/可能
- 岸壁での物産販売/可能(蜂蜜、水産加工品、かすまき など)
- シャトルバス手配/なし(中心部まで徒歩で約15分)
- その他、岸壁・観光地等でのサービス
特産品ふるまい など



【対馬の魅力】

手つかずの自然が残る国境の島・対馬は、リアス式海岸・浅茅湾の美しいパノラマなどの雄大な自然や悠久の歴史、トレッキングや対州そば打ち体験など、島ならではの魅力に溢れています。また、石焼き料理など対馬ならではの食文化を体感することも楽しみの一つです。

対馬イチオン観光情報!! 万松院(ばんしょういん)

対馬藩第2代藩主 宗義成(そうよしなり)が、父義智(よしとし)の冥福を祈って1615年に建立し、宗家の菩提寺として特別の崇敬を受けてきました。桃山様式の山門、歴代徳川将軍の位牌、朝鮮王国から贈られた三具足などが公開されています。百雁木と呼ばれる石段を昇ると、歴代藩主の壮大な墓所が姿を現します。

◎定休日/なし ◎駐車場/中型バス2台、普通車20台(大型バスは徒歩5分のところに停車) ◎階段/石段有(132段)/バリアフリー(無) ◎トイレ/有 ◎営業時間/8:00~18:00 ◎料金/大人300円、中学生200円、小学生100円 ◎アクセス/車で約5分 ◎連絡先/万松院 tel.0920-52-0984



Port information

対馬の港湾情報

| | | |
|----------|-----------------------|---|
| 名称 | 厳原港 | |
| 所在地 | 長崎県対馬市厳原町東里 | |
| 岸壁概要 | 延長 | 330m |
| | 水深 | -7.5m |
| | エプロン幅員 | 20m |
| | 潮差 | 1.93m |
| 主な実績 | にっぽん丸、ばしふいっくびいなす、ふじ丸 | |
| ターミナル概要 | なし(国際定期航路のためのCIQ施設あり) | |
| 錨泊に関する案内 | 場所 | 三浦湾 |
| | 主な実績 | 飛鳥、ばしふいっくびいなす、ふじ丸、CLIPPER ODYSSEY、オイローバ |
| | CIQ機能 | なし(船内審査となります) |
| | テンダーボート | 手配不可 |



豆碓崎(つつざき)



対馬南西部の豆碓崎は、対馬海流を裂くように突き出した岬で、先端まで遊歩道が整備されています。断崖と海上の岩礁、海と空の青と、海上に浮かぶ白いミョー瀬照射灯(標柱)のコントラストが美しく、対馬を代表する景勝地のひとつです。

◎駐車場/大型バス5台、普通車6台 ◎階段/なし(ただし、駐車場から片道10分程度の坂道を徒歩移動) ◎トイレ/有 ◎アクセス/車で約45分 ◎連絡先/対馬観光物産協会 tel.0920-52-1566

和都都美(わたづみ)神社



浅茅湾の北部の入り江の奥に位置し、古事記・日本書紀などに登場する豊玉姫と山幸彦をまつる名神社です。5つの鳥居のうち2つは海中にあり、潮の干満により様相を変え、古代の神話世界を感じさせます。

◎駐車場/大型バス5台、普通車6台 ◎階段/なし ◎トイレ/有 ◎備考/足の悪い方でも、駐車場付近から雄大なパノラマの一部をご覧いただくことができます。 ◎アクセス/車で約55分 ◎連絡先/和都都美神社 tel.0920-58-1488

烏帽子岳(えぼしだけ)展望所



標高176mの烏帽子岳山頂近くまで道路が整備されており、145段の階段(手すりつき)を登ると、リアス式海岸・浅茅湾の雄大なパノラマを楽しむことができます。複雑に入り組んだ海岸線と無数の島々、気象条件がよければ韓国の陸影を望むこともできる人気の観光スポットです。

◎駐車場/大型バス1台、普通車5台 ◎階段/有(145段・バリアフリーの対応無) ◎トイレ/有 ◎備考/足の悪い方でも、駐車場付近から雄大なパノラマの一部をご覧いただくことができます。 ◎アクセス/車で約60分 ◎連絡先/対馬観光物産協会 tel.0920-52-1566

対馬野生生物保護センター



ツシマヤマネコなどの貴重な動植物の調査・保護・普及啓発活動を行う環境省の施設で、対馬の植物や野鳥などの情報も集められています。ツシマヤマネコが一般公開されており、ガラス越しに生きたツシマヤマネコを見学することができます。(ヤマネコの体調などにより公開を休止する場合があります。お問い合わせください)

- ◎定休日/月曜日と年末年始 ※但し月曜日が祝日の場合はその翌日
- ◎駐車場/大型バス 2台、普通車 20台
- ◎階段/なし ◎トイレ/有
- ◎営業時間/10:00~17:00 ※但し16:30までに入館
- ◎料金/無料 ◎アクセス/車で約100分
- ◎連絡先/対馬野生生物保護センター tel.0920-84-5577

韓国展望所



対馬北端の上対馬町鯉浦(わにうら)は、韓国に近い良港として古代より交通の要路でした。現在、鯉浦の丘の上には韓国の古代建築様式を取り入れた展望所があり、日韓双方の観光客が訪れる観光スポットとして人気を博しています。

- ◎駐車場/大型バス 5台、普通車 20台
- ◎階段/有(8段/バリアフリー対応無)
- ◎トイレ/有
- ◎アクセス/車で約120分
- ◎連絡先/対馬観光物産協会 tel.0920-52-1566

お船江



江戸時代、対馬藩が久田川の河口に藩船を格納するために構築した船着場の跡。現在の遺構は寛文3年(1663年)の造成といわれます。正門、倉庫、藩主休憩の建物等が残っており、往時の壮大な規模をうかがうことができます。当時の原形をこれほど保っている所は全国にないといわれています。

- ◎駐車場/無(バスの乗降は可能)
- ◎階段/無(バスの乗降場所から移動する際に数段有)
- ◎トイレ/無
- ◎アクセス/車で約5分
- ◎連絡先/対馬観光物産協会 tel.0920-52-1566

モデルコース Model Course

国境を感じる旅(対馬北部)

気象条件が良ければ韓国を肉眼で望むことが出来る韓国展望所、内部構造を見学できる昭和期の巨砲・豊砲台、にほんの渚百選の三宇田浜、国内最大の大陸系植物ヒトツバタゴの自生地など、対馬北部を中心に、国境、自然、歴史を感じることが出来ます。

厳原港⇒(120分)⇒比田勝(昼食)⇒(5分)⇒三宇田浜⇒(20分)⇒豊砲台⇒(5分)⇒ヒトツバタゴ自生地⇒(1分)⇒韓国展望所⇒(120分)⇒厳原港

- ◎所要時間(全体)/約7時間 ◎距離/約180km ◎備考/豊砲台は大型バス不可(中型は可)



神話を感じる旅(対馬中部)

対馬一の景勝地・烏帽子岳展望所からリアス式海岸・浅茅湾を一望し、古事記などに登場する海の女神・豊玉姫をまつる和多都美神社を訪問し、神話世界に浸ります。

厳原港⇒(60分)⇒烏帽子岳⇒(5分)⇒和多都美神社⇒(55分)⇒厳原市内(昼食)⇒厳原港

- ◎所要時間(全体)/約3時間30分 ◎距離/約75km ◎備考/烏帽子岳展望所には約150段の階段があります。



イベント情報 Event information

ひとつばたご祭り

「鯉浦のヒトツバタゴ」は国内最大の群生地として国の天然記念物に指定されており、島内外の花見客で賑わいます。例年、ヒトツバタゴの開花にあわせて、5月上旬の連休中に「ひとつばたご祭り」が開催されます。会場では、地元特産品の販売、歌謡ショー、苗木の販売などが行われます。



- ◎開催時期/5月上旬 ◎備考/開催の有無や開催日についてはお問い合わせください。
- ◎アクセス/車で約120分 ◎連絡先/対馬観光物産協会 上対馬支部 tel.0920-86-4838

万松院まつり

対馬藩主・宗家の菩提寺で、1年に1度、350基の灯笼に明かりを灯し、御霊をお祭りします。闇に浮かぶ無数の灯笼が、幻想的な幽玄の世界を醸し出します。



- ◎開催時期/10月中旬 18時~21時 ◎備考/万松院祭の時間帯は、無料開放
- ◎アクセス/車で約5分 ◎連絡先/万松院史跡保存会 tel.0920-52-0984

釜山世界花火大会

釜山市で開催される花火大会です。天候にめぐまれば対馬の韓国展望所から異国の花火大会を見ることが出来ます。対馬~釜山などに移動する際、航路上で見られることも可能です。



※写真は釜山市内で撮影

- ◎開催時期/10月下旬 20:00~21:00 ◎連絡先/対馬観光物産協会 tel.0920-52-1566

こもだはま 小茂田浜神社大祭

文永11年(1274年)10月5日、対馬の西海岸・小茂田浜は、元・高麗連合軍の軍船で埋め尽くされました。世に言う元寇のはじまりです。対馬島主・宗助国と家臣団80余騎は激戦の果てに玉碎。宗助国は軍神となり、毎年11月12日に土族の末裔が伝来の鎧を身をかためて小茂田浜に集い、神主が海に向かって鎧を放つ「鳴弦の儀」が行われるようになりました。



- ◎開催時期/11月第2日曜日 午前10時から ◎アクセス/車で約40分
- ◎連絡先/対馬観光物産協会 tel.0920-52-1566

大陸伝来、対州そばを味わう旅

対馬の中央に広がるリアス式海岸・浅茅湾を一望できる景勝地・上見坂(かみざか)公園、元寇の古戦場・小茂田浜(こもだはま)、伝統的建築物の石屋根倉庫などを巡り、対州そばを打ち、味わいます。

厳原港⇒(15分)⇒上見坂公園⇒(15分)⇒小茂田浜⇒(5分)⇒椎根(しいね)の石屋根⇒(10分)⇒体験であい塾「匠」(そば打ち体験)⇒(30分)⇒厳原港

- ◎所要時間(全体)/約3時間30分 ◎距離/約43km



「にほんの里100選」の里・豆餿と歴史を学ぶ旅

「にほんの里100選」に認定された「豆餿」地区を散策し、対馬歴史民俗資料館や対馬藩主・宗家の菩提寺万松院、対馬藩の造船ドック「お船江」などを歩き、国境の島・対馬の歴史を学びます。

厳原港⇒(50分)⇒豆餿崎⇒(10分)⇒豆餿(昼食)⇒(45分)⇒お船江⇒(5分)⇒対馬歴史民俗資料館⇒(30分)⇒万松院⇒(10分)⇒厳原港

- ◎所要時間(全体)/約5時間 ◎距離/50km



乗船客向け体験メニュー Experience menu

浅茅湾シーカヤック

対馬の中央には、巨大な浅茅湾が広がっており、近年、絶好のシーカヤックフィールドとして注目されています。内海のため風や波の影響を受けにくく、風光明媚な海域です。シーカヤックに乗り、波穏やかな海抜ゼロメートルの世界に漕ぎ出してみませんか?



- ◎定員/20名 ◎対応可能時間帯/午前9:00~、13:00~ ◎所要時間/半日コース(3時間程度)、1日コース(6時間程度)
- ◎料金/半日コース 6,000円/人、1日コース 10,000円/人 ◎アクセス/車で約30分
- ◎連絡先/対馬エコツアー tel.0920-54-3595、対馬カヤックス tel.0920-54-4329

浅茅湾クルーズ

複雑な入り江と無数の島々が織りなす典型的なリアス式海岸で、全域が吉岐対馬国定公園に指定されている風光明媚な海域を遊覧します。湾内には、明治時代に掘りきられた人工の運河「万関橋」や、海面から40m以上突き出した巨大な岩塊「鋸割岩」(のこぎわい)など、名所が点在しています。



- ◎定員/60名 ◎対応可能時間帯/チャーターは午前中のみ ◎所要時間/90~150分
- ◎料金/チャーター90分30,000円、120分40,000円、150分50,000円 ◎アクセス/車で約20分
- ◎連絡先/市営渡海船 対馬市豊玉地区活性化センター tel.0920-58-1111

対州そばのそば打ち体験

日本のそばは、縄文時代後期に大陸から対馬経由で伝来したとされ、原種に近いといわれる対州そば(対馬そば)は小粒で香りが高く、コシが強いのが特徴。食通もなる対馬のそばを、自分で打って味わってみませんか?



- ◎定員/各施設30名 ◎対応可能時間帯/①11:00~16:00 ②10:30~11:30
- ◎所要時間/60分~90分 ◎料金/①~④まで3,780円、5名以上1人増すごとに945円 ⑤1セット(4名まで)4,000円
- ◎営業時間/①9:00~16:00 毎火曜日(年末年始休み) ②11:00~14:00(年末年始休み) ◎アクセス/車で約30分 ③車で100分
- ◎連絡先/①体験であい塾 匠 tel.0920-56-0118 ②そば道場あがたの里 tel.0920-84-2340

有明山トレッキング

対馬の嶺とも呼ばれ、万葉集にも詠まれた歴史ロマンあふれる名山です。気象条件に恵まれば、山頂から吉岐の鳥影を見ることが出来ます。



- ◎定員/ガイド1人につき10名程度 ◎対応可能時間帯/8:00~17:00
- ◎所要時間/5時間程度 ◎料金/ガイド1人につき17,000円
- ◎備考/古代山城を歩く(金田城トレッキング)、原始林トレッキング(龍良山・白根・御嶽)なども実施
- ◎アクセス/登山口(対馬市役所近辺)まで徒歩約20分
- ◎連絡先/対馬観光ガイドの会やんこも tel.0920-52-1566(対馬観光物産協会内)

食・物産情報 Food and specialty products information

石焼き料理



漁師が浜辺で暖をとりながら食べたのが原型と言われている石焼きは、石英斑岩という特殊な岩を熱し、その上で新鮮な魚介類を焼いて食べる対馬伝統の漁師料理です。

あなご料理



対馬はあなごの水揚げ量日本一。対馬産のあなごは、身が厚く、脂ののっており、新鮮な刺身、フライ、すり身、寿司、あぶった骨はダシに使うなど、様々な料理に使われ、捨てるどころが無い海の恵みです。

ろくべえ



サツマイモを発酵させ、デンプンのみを取り出して丸めた保存食「せんだんご」を材料にしたろくべえは、黒く、短く、プルプルとした食感が特徴の麺を、地鶏や魚で作ったスープと一緒に食べる郷土料理です。

ニホンミツバチの蜂蜜



対馬はニホンミツバチしか生息していない島です。年に1回、秋にだけしか採蜜出来ない蜂蜜は、熟成され、香り高く、味が濃いのが特徴です。伝統的な巣箱「蜂洞」(はちどう)で生産される蜂蜜は、もともとは滋養・薬としてほとんどが島内で消費されていましたが、近年生産量が伸び、島外でも人気を集めています。

対馬しいたけ



厳しい環境で育つ対馬のしいたけは、肉厚で歯ごたえがあり、森のアワビとも呼ばれます。料理には欠かせない食材として、島民に愛されています。

上対馬とんちゃん



戦後、在日韓国人から伝えられた焼肉料理をベースに、豚の肩ロース肉を醤油や味噌、ニンニク、ごま油など秘伝のタレに漬け込んで焼いて食べる庶民的な料理で、おもに対馬北部のソウルフードとして定着しています。

かすまき



かすまきは、こし餡をカステラ風の厚い皮で巻いた対馬を代表する和菓子です。江戸時代、当時贅沢品だった砂糖をたっぷり使い、対馬藩主の旅の無事を祝いました。今でも縁起の良い和菓子として、またお土産として愛されています。

対馬の地酒各種



大正8年創業の「河内酒造」は、対馬唯一の蔵元として島民に親しまれています。代表的な銘柄は、対馬の霊峰から名付けられた清酒「白嶽」と、焼酎「やまねこ」。どちらも口あたりがよく、飲みやすいお酒です。

対馬厳原港 入港時の条件等

<入出港時間>

入出港時間は現状では、10時以降入港・17時以降出港
但し、出港に関しては、15時には全ての定期フェリーが出港し終わるため、
調整ができれば15時～でも可能。

<入国審査等の対応について>

定期船のダイヤに沿って個別に判断する。

<現状で着岸可能なクルーズ船のサイズ>

「ばしふいっくびいなす」(26,594t、183.40m)までのサイズ。

